

# 令和6年能登半島地震の被害状況

# 令和6年能登半島地震の被害状況

- 石川県を中心に、多数の家屋倒壊、土砂災害等により死者244名、重軽傷者1,300名の甚大な被害が発生。
- 電気、ガス、上下水道等のライフラインへの被害のほか、道路、鉄道等の交通インフラにも甚大な被害が生じ、住民生活や中小企業、農林漁業や観光業等の経済活動にも大きな支障が生じた。

## ○人的被害 (令和6年3月26日現在)

	死者	重軽傷者
人数	244名	1,300名

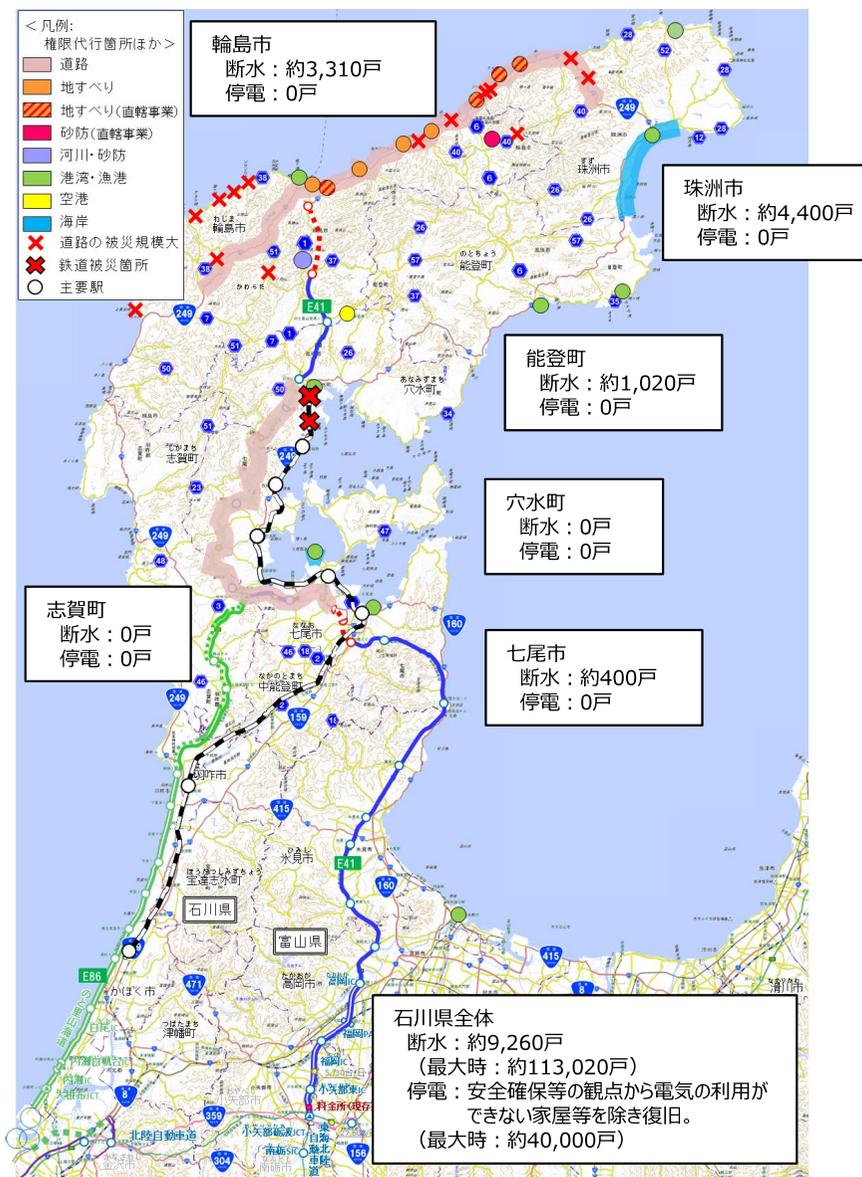
## ○住家被害 (令和6年3月26日現在)

都道府県名	住宅被害				
	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損
石川県	8,441	15,373	6	5	51,098
新潟県	102	2,867		14	18,163
富山県	213	650			14,031
その他		12			597
合計	8,756	18,902	6	19	83,889

## ○ライフライン被害 (令和6年3月26日現在)

	最大戸数	復旧状況
電力	約44,160戸	安全確保等の観点から電気の利用ができない家屋等を除き復旧。 ※北陸電力送配電が保安上の措置を実施：約370戸
水道	約137,040戸	約9,260戸が断水

## ○インフラ・ライフラインの被害状況 (令和6年3月26日現在)



# 令和6年能登半島地震における被害と対応

国土交通省

令和6年5月

【出典】国土交通省ホームページ  
「令和6年能登半島地震における被害と対応（令和6年5月）」より抜粋



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 目次



- 1 地震の概要
- 2 被害の概要（人的被害、主要インフラ等）
- 3 国土交通省の対応
  - （1）インフラ復旧支援
  - （2）物流・物資支援
  - （3）生活・生業支援

## 2 被害の概要（人的被害、主要インフラ等）

### 住宅、ライフライン等の甚大な被害

- 地震による建物の倒壊・損壊に加え、輪島市では市街地の火災による「複合災害」が発生。
- 石川県珠洲市、能登町及び志賀町の3市町、新潟県上越市では、津波により約200ha浸水。
- 石川県、富山県、新潟県の広い範囲で、液状化による被害が発生。



建築物の損壊状況（七尾市）



木造建築物の倒壊状況（穴水町）



焼失した市街地を北側から撮影した様子（輪島市）



液状化による地盤の流動状況（内灘町）

#### ■被災状況

死者・負傷者	死者 245名 負傷者 1,313名	(令和6年5月21日14:00 消防庁)
住家被害	全壊 8,571戸 半壊 20,402戸 床上・床下浸水 25戸 一部損壊 94,558戸	(令和6年5月21日14:00 消防庁)
避難者数	最大 51,605名 (1道9県1府) 現在 3,598名 (石川県)	(令和6年1月2日5:00 内閣府) (令和6年5月21日14:00 内閣府)
停電	最大 約40,000戸 (北陸電力管内1/1 16:10時点) 現在 安全確保等の観点から電気の利用ができない家屋等を除き復旧(石川県)	(令和6年3月15日13:00 経済産業省)
断水	最大 約137,000戸 (石川県、富山県、新潟県、福井県、長野県、岐阜県) 現在 約2,230戸 (石川県)	(令和6年5月21日14:00 国土交通省)



津波の引き波による住宅2階部分の流出状況（能登町）

<死者・負傷者、住家被害>  
 ※新潟県の公表資料において新潟市の住家被害(罹災証明申請数)は本表に反映していない  
 ※富山県の公表情報において住家被害の「未分類」と表記されている情報は本表に反映していない  
 ※石川県の死者数は石川県の公表資料に基づく

※【写真出典】国土技術政策総合研究所現地派遣者および石川県知事会見資料より



10

インフラの甚大な被害

○道路、上下水道施設を中心に甚大な被害が発生。



国道249号大谷トンネル(珠州市)



国道249号道の駅千枚田付近(輪島市)



輪島港の被災(輪島市)



能登空港の被災(穴水町)

■被災状況 (令和6年5月21日14:00国土交通省)

**道路** 能越自動車道、北陸自動車道、国道249号(石川県管理)、国道8号等で被災通行止め(北陸自動車道は1/2、国道8号は1/27に通行止め解除。能越自動車道は3/15に全区間で北向き通行確保(のと三井IC~のと里山空港では対面通行可))

**上水道** 石川県内の2事業者において約2,230戸が断水中。一部は断水解消済。  
※水道事業者が管理している施設が復旧しておらず、住宅等に水を供給できない戸数

**下水道** 処理場33施設(石川県・新潟県・富山県)、ポンプ場14箇所(石川県) 管路施設(石川、新潟、富山、福井県の62市町村のうち32市町村で被害無、30市町村で応急対応により流下機能確保済み)

**河川** 4水系4河川16箇所施設損傷等(国管理)、66水系113河川で施設損傷等(県管理) 河原田川、山田川等で土砂崩れによる河道閉塞が発生

**海岸** 22海岸で堤防護岸の損傷等を確認(石川県管理の宝立正院海岸、三崎海岸等)

**土砂災害** 455件(新潟県18、富山県13、石川県424)

**港湾** 22港(石川県・富山県・新潟県・福井県)で防波堤や岸壁、ふ頭用地等に被害が発生

**空港** 能登空港(滑走路上に深さ10センチ長さ約10メートル以上のひび割れ4~5箇所)

**鉄道** 運転を見合わせている路線：なし



岩屋浄水場の被災(七尾市)



浄水場から配水池へ向かう水道管の破損・露出(輪島市)



下水道マンホールの浮き上がり(輪島市)

※【写真出典】国土交通省道路局 WEBサイトおよびTEC-FORCE撮影





## 3 国土交通省の対応

17

### (1) インフラ復旧支援

<孤立集落の解消に向け、県・自衛隊と連携し、陸・海・空からくしの歯状の緊急復旧を以下の手順で実施>

- 1/2 七尾市から、輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで普通車での通行を確保
- 1/4 輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで大型車が通行可能となり、縦軸・横軸ラインを確保
- 1/8 「くしの歯」の「歯」になる幹線道路の緊急復旧を継続し、能登半島内陸及び海側から7ルートを確認
- 1/15 日本海側へ9ルートを確認し、緊急復旧を加速。国道249号等半島内の主要な幹線道路の約9割で緊急復旧完了



発災後3日で縦軸・横軸ラインを確保

1/9に主要な幹線道路の約8割、1/15に約9割の緊急復旧が完了

○緊急復旧（道路啓開）作業の様子



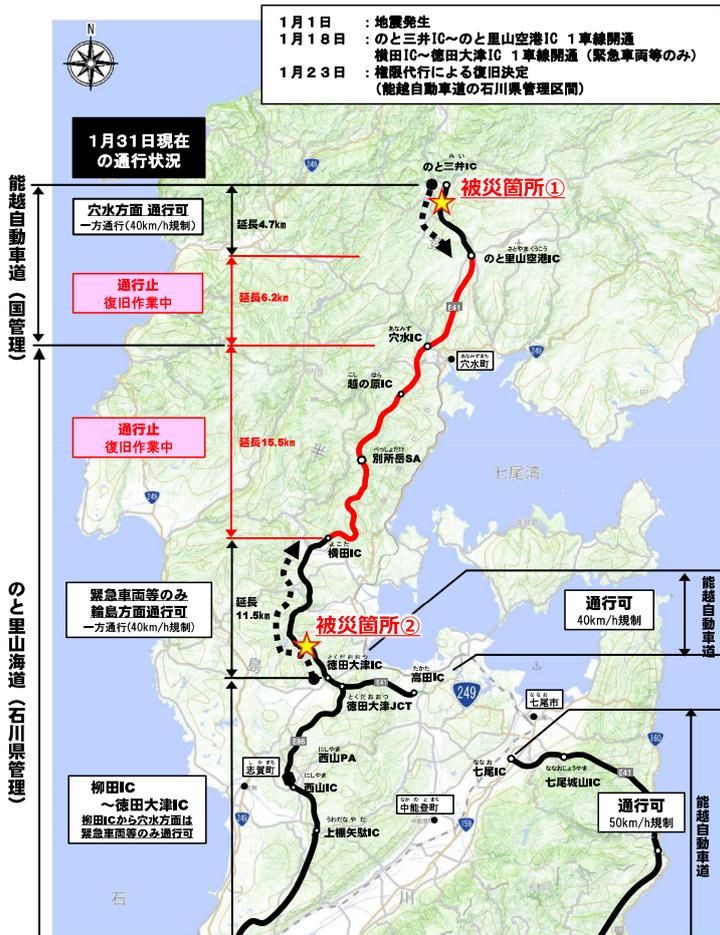
県道1号 輪島市三井町での啓開作業（1月3日撮影）



深見海岸 海側からの重機運搬（1月14日撮影）



## 国道470号能越自動車道・のと里山海道 発災1ヶ月後の復旧状況



- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、13方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。



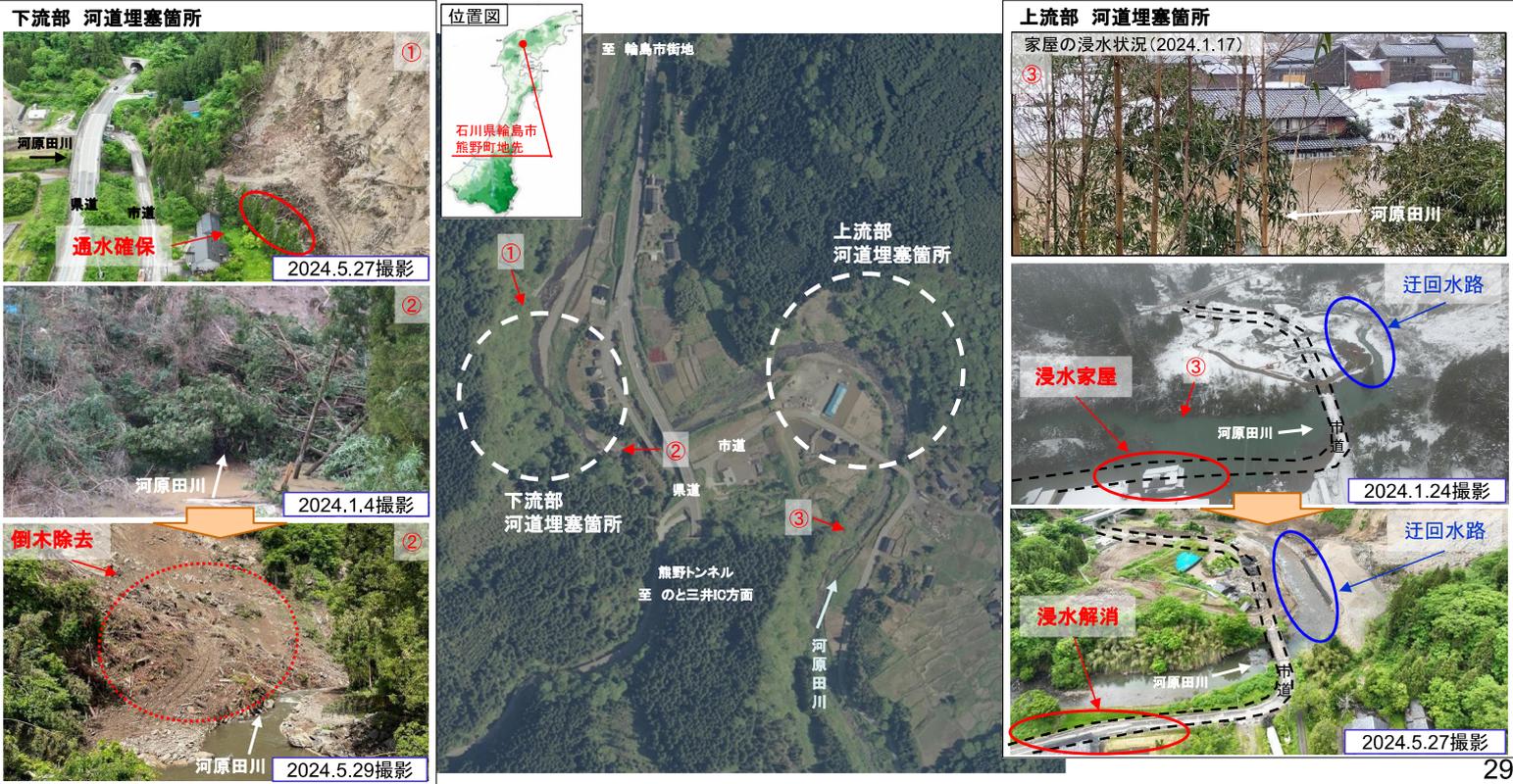
## 令和6年能登半島地震による土砂災害対応状況

- 石川県にTEC-FORCEを派遣し、土砂災害発生箇所及び砂防関係施設等の調査を完了。
- 石川県では6河川(14箇所)で河道閉塞等を確認。国は県と連携し、TEC-FORCEによる調査や監視カメラを設置するなど、監視体制を構築し自治体にも監視映像を提供。
- 土砂災害発生箇所のうち、不安定な状態で斜面や渓流内に土砂・流木が堆積し、今後の降雨により二次災害が発生するおそれが高い、石川県河原田川、町野川及び国道249号の沿岸部において、国による緊急的な土砂災害対策を実施中。
- 河道閉塞等について、対策工法やリスクへの対応等の技術的な課題を検討するため、2月19日に、学識者や関係行政機関からなる「能登半島地震における土砂災害対策検討委員会」を設置し検討を開始。



- 河道埋塞が発生していた河原田川の輪島市熊野町地先において、上流部では迂回水路を設置し、家屋・道路浸水を解消。
- 出水期までに上下流見合いの迂回水路の拡幅や倒木除去・土砂撤去を実施し、上下流と同等程度の通水断面を確保した。
- 引き続き、復旧の早期完成に向け、出水期後に本復旧に着手できるよう準備中である。

※本復旧は従前の河道の機能を確実に確保

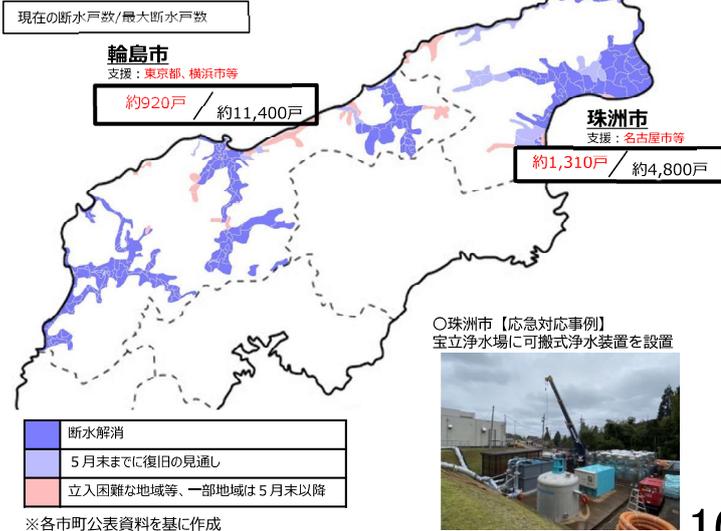


## 令和6年能登半島地震に伴う上下水道施設の対応状況

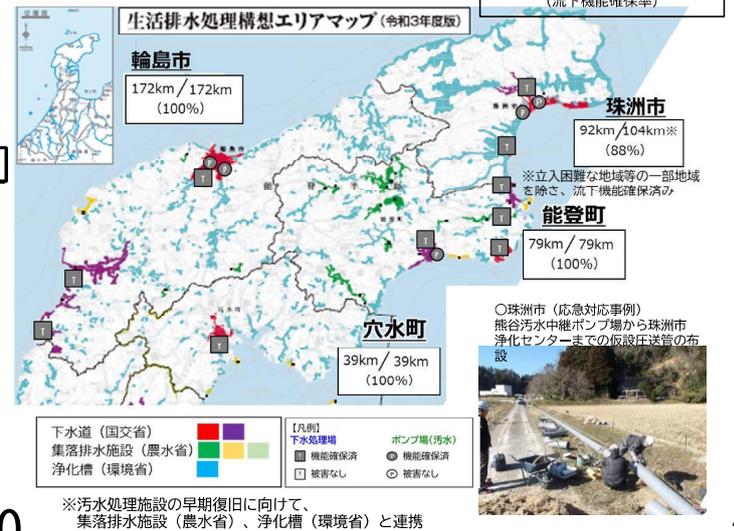
令和6年5月21日  
13:00時点

- 国土交通省は、全国自治体の上下水道職員や関係団体などと連携し、上下水道一体となった復旧支援を実施。
- また、「能登上下水道復興支援室」を七尾市に設置し、上下水道復旧について技術的にサポート。
- 今回の地震で6県38事業者において最大約13.6万戸が断水。石川県では5月21日時点で98.0%が水道本管復旧済み。立入困難な地域等の一部地域を除き、輪島市、珠洲市では5月中に水道本管が復旧する見込み。
- また、引き続き、宅内配管工事の加速化を進める。
- 下水道本管の流下機能は珠洲市の立入困難な地域等の一部地域を除き、確保済み。
- 「上下水道地震対策検討委員会」を設置し、上下水道施設の被害を踏まえた今後の地震対策のあり方や上下水道一体での災害対応のあり方などについて議論。

### ○水道本管の復旧状況



### ○下水道本管の流下機能確保の状況



- 能登地域の港湾においては、岸壁背後の沈下や液状化により、多数の岸壁で車両による岸壁までのアクセスが困難となった
- 支援物資輸送の中核となる水深4.5m以深の岸壁への車両アクセス経路を確保するため、応急復旧を実施することで、支援物資輸送等の円滑な実施に貢献している。

## 輪島港（輪島市）

岸壁背後に最大2mの沈下が発生。  
 応急復旧により車両のアクセス経路を確保  
 （1月5日）。



応急復旧後の状況



自衛隊車両の利用（1月5日）

## 飯田港（珠州市）

岸壁背後のアクセス経路にうねりが発生。応急  
 復旧により、車両のアクセス経路を確保  
 （1月9日）。



応急復旧後の状況



民間2船（RORO船等）の利用（1月11日）

## 海翔丸による支援物資輸送

九州地整の所有する作業船「海翔丸」が1月  
 3日に北九州港を出港、同月5日に七尾港  
 に着岸し、飲料水等の物資を輸送。



海翔丸（九州地整所有）



七尾港での支援物資の荷下ろし（1月5日）

# TEC-FORCEの派遣状況（令和6年能登半島地震）

○令和6年1月1日から3月30日まで、令和6年能登半島地震で、  
中部地方整備局は TEC-FORCE隊員を延べ、2,191人・日（実人数359人）110班  
企業従事者を延べ、2,089人・日（実人数337人）152班 を派遣。

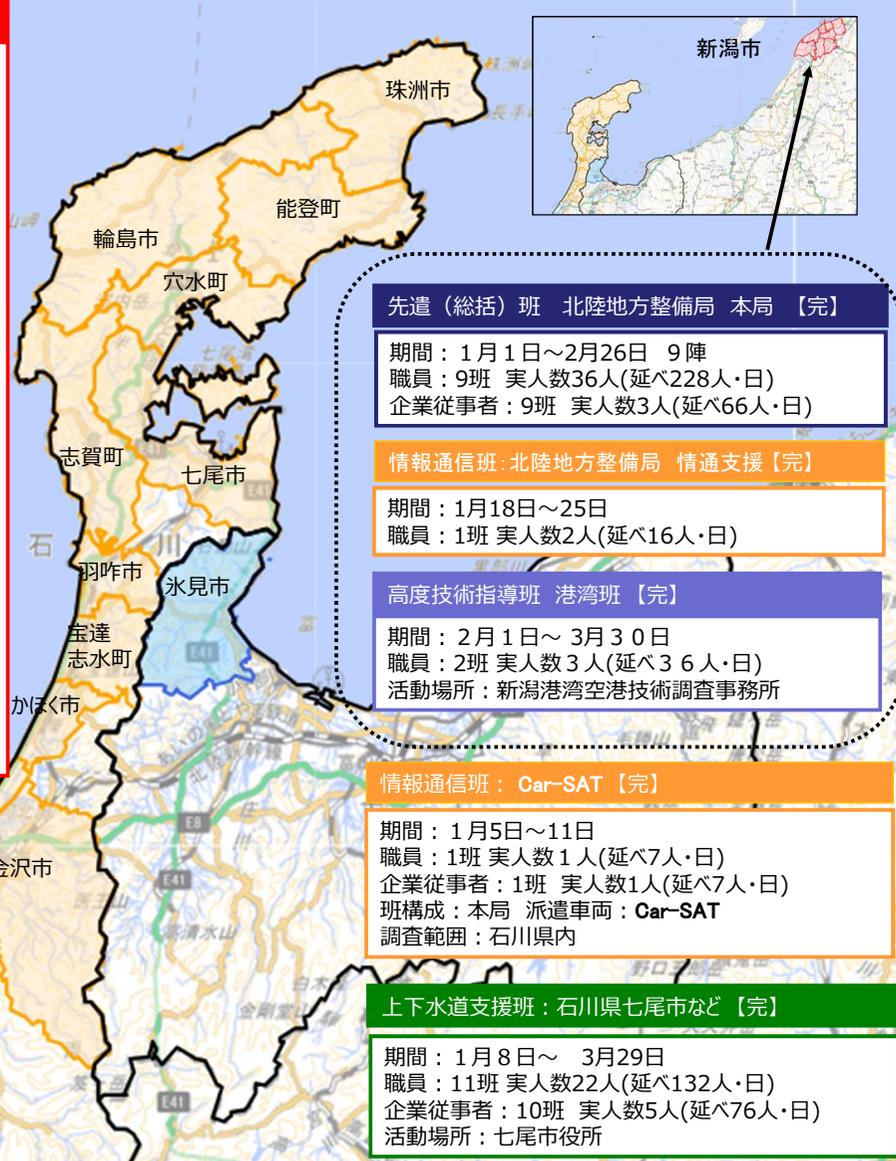
○3県13市にて、現地での情報収集、被災状況調査など、早期復旧に向けた地方公共団体の支援を実施。  
（石川県：金沢市、内灘町、かほく市、穴水町、志賀町、羽咋市、宝達志水町、七尾市、珠洲市、能登町、輪島市、富山県：氷見市、新潟県：新潟市）

## 被災状況調査班【完】

- 河川班** 期間：2月2日～7日  
職員：1班 実人数4人(延べ21人・日)  
企業従事者：1班 実人数1人(延べ8人・日)  
調査場所：珠洲市 5か所
- 砂防班** 期間：1月2日～2月7日 5陣  
職員：19班 実人数70人(延べ456人・日)  
企業従事者：19班 実人数23人(延べ187人・日)  
調査場所：輪島市 182か所
- 道路班** 期間：1月2日～2月26日 9陣  
職員：45班 実人数176人(延べ1,068人・日)  
企業従事者：45班 実人数37人(延べ304人・日)  
調査場所：992か所（内数）  
かほく市(3) 内灘町(8) 穴水町(2) 志賀町(26)  
羽咋市(1) 宝達志水町(2) 七尾市(213)  
珠洲市(528) 能登町(205) 輪島市(4)
- 建築班** 期間：1月9日～16日 2陣  
職員：2班 実人数6人(延べ24人・日)  
企業従事者：2班 実人数2人(延べ8人・日)  
調査場所：能登町 61か所
- 港湾班** 期間：1月3日～12日 2陣  
職員：2班 実人数4人(延べ20人・日)  
企業従事者：2班 実人数2人(延べ10人・日)  
作業場所：金沢港湾・空港整備事務所

- 高度技術指導班 住宅班C【完】**  
期間：2月26日～3月11日  
職員：1班 実人数1人(延べ15人・日)  
作業場所：石川県庁

- 市町道路とりまとめ連絡班【完】**  
期間：1月6日～29日 4陣  
職員：4班 実人数12人(延べ72人・日)  
企業従事者：1班 実人数1人(延べ7人・日)  
活動場所：金沢河川国道事務所、石川県青少年総合研修センター、小矢部市市民活動センター



## 応急対策班【完】

- 給水支援**  
期間：1月3日～19日 1月31日～  
職員：3班 実人数3人(延べ19人・日)  
企業従事者：21班 実人数45人(延べ332人・日)  
作業箇所：富山県氷見市 石川県かほく市  
能登町、金沢市、輪島市、珠洲市
- 照明支援班 機械班 道路啓開班**  
期間：1月4日～31日  
職員：5班 実人数15人(延べ67人・日)  
企業従事者：9班 実人数86人(延べ554人・日)
- 燃料補給班（小型タンクローリー）**  
期間：1月4日～16日 2陣  
企業従事者：4班 実人数10人(延べ52人・日)
- 待機支援車班**  
期間：1月10日～31日  
企業従事者：15班 実人数36人(延べ175人・日)
- 電源支援班**  
期間：1月8日～13日  
企業従事者：1班 実人数15人(延べ45人・日)
- トイレ支援班**  
期間：1月8日～13日  
企業従事者：7班 実人数27人(延べ164人・日)
- モバイルトラカン** 1月4日～5日  
職員：1班 実人数2人(延べ4人・日)  
企業従事者：1班 実人数3人(延べ44人・日)
- 応急対策班（無人施工BH）**  
期間：1月4日～5日  
職員：1班 実人数1人(延べ2人・日)  
企業従事者：2班 実人数8人(延べ16人・日)
- 民間ヘリ**  
期間：1月9日～10日  
企業従事者：1班 実人数2人(延べ4人・日)
- 物資輸送班**  
期間：1月3日～5日  
職員：2班 実人数2人(延べ4人・日)  
企業従事者：1班 実人数30人(延べ30人・日)